



日本プライマリ・ケア連合学会
北海道ブロック支部 活動報告

発行人：支部長 木村 眞司

北海道ブロック支部事務局
(松前町立松前病院事務局)
TEL:0139-42-2515 FAX:0139-42-2516
e-mail:hpc.a.jimukyoku@gmail.com

ニュースレター No. 10 (2015. 6)

文責 北海道ブロック支部長 木村眞司 (松前町立松前病院) shkimura@sapmed.ac.jp

今後の支部行事予定等は以下のとおりです。

- 10月3日(土) 午後3時から 指導医養成講習会(指導医養成・FD委員会企画)
内容: 入門編(指導医に最低限必要な家庭医療の方法論、教育・指導技法、ポートフォリオ指導)
場所: TKP 札幌駅カンファレンスセンター(旧札幌代々木ゼミナール)
定員: 50名
受付期間:
北海道ブロック所属会員のみ申込可能: 8/3 10AM~8/17 10AM
すべての会員が申込可能: 8/17 11AM~9/18 10AM
詳しくは学会ホームページをご参照下さい。認定制度のバナーから>認定制度>指導医制度>10月3日(土)
- 10月4日(日) 午前9時から12時まで ポートフォリオ検討会を計画中。
- 11月28日(土) 午後 学生・初期研修医を主な対象とした北海道プライマリ・ケアフォーラムを行ないます(札幌市中央区北2西7 かでる2・7)。
- 秋にサイトビジット(後期研修プログラムの相互訪問)を企画します。

活動報告

- 幹部会をスカイプ会議で行ないました: 3月2日、3日、4月6日、5月19日、6月16日
- 3月13~15日(金~日) 北海道地域医療ウィンターキャンプ2015 in 朱鞠内を幌加内町朱鞠内で開催しました。(同実行委員会主催) 医学生8人(札幌医大4名、旭川医大3名、北大1名)が参加し、さまざまなアクティビティを行ないました。(報告は次のページに)
- 3月28日(土) 地方会実行委員会(第三回)を行ないました(札幌 旧代々木ゼミナール)。
- 4月19日(日) 北海道プライマリ・ケアフォーラム実行委員会を行ないました(同上)。
- 4月26日(日) 北海道臨床研修病院合同プレゼンテーション(札幌コンベンションセンター)にて後期研修のブースを支部として開設しました。また、同日、同センターにて、後期研修プログラムと臨床研修病院と地域枠医師派遣対象医療機関(当学会認定医資格・指導医資格を有する医師のいる施設を中心に)を対象に、地域枠医師の家庭医療後期研修受け入れに関する説明会を計2回開催しました。
- 6月6日(土) 幹事会を行ないました(札幌 旧代ゼミ)。
- 6月27日(土) 地方会、代議員会を行いました(札幌 かでる2・7)。次号で報告します。

<北海道地域医療ウィンターキャンプ2015 in 朱鞠内 報告>

去る3月13日(金)から二泊三日で、学生対象のキャンプを行ないました。幌加内町国保病院森崎龍郎院長を実行委員長として半年前から企画を進めたものです。北海道の3医学部から合計8名の参加がありました。

参加者は13日夕刻、道北の幌加内町朱鞠内（しゅまりない）に札幌と旭川から集結。アイスブレイキングと森崎院長による心温まる講演で始まりました。



2日目の午前はフィールドワーク「朱鞠内での生活ってどんなの?」「お年寄りと触れあう」と題して、三つの班に分かれ、除雪作業をしたり、酪農体験をしたり、小規模多機能居宅介護事業所「よるべさ」でお年寄りたちとふれあったりしました。



昼食は朱鞠内コミュニティーセンターで地元の方々と焼き肉。

午後からは再びフィールドワークでライフストーリー・インタビュー。各班に分かれて地域の方々のお話を聴きに行きました。そのあと各班でそれをパワーポイントにまとめ、夜は発表会と夕食・懇親会。地元の方々も交え楽しいひと時を過ごしました。



最終日は朝から朱鞠内湖でワカサギ釣り。そしてそのあとは場所を移してそば打ち体験。自分たちで打ったそばと朝釣ったワカサギの天ぷらを食べて舌鼓を打ちました。



盛りだくさんのキャンプは学生さんたちに大好評でした。皆さん地域医療への思いを新たにさせていただけたようです。二泊三日にしたことも成功の一要因と考えています。帰路は皆爆睡したとのことでした。

今後もこのような取り組みを続け、学生たちの関心を高めていきたいと考えています。